

奈良公園の魅力を向上させるプロジェクト推進に必要な支援

平成30年7月

【担当省庁】国土交通省

○多大なご支援をいただいた（仮称）登大路バスターミナルは、平成31年春の開業に目途がつき、次年度以降、奈良公園の魅力をさらに向上させるプロジェクトがステップアップできることに、心より感謝。



【奈良県における取組】

○プロジェクトの目標

自然や歴史・文化、公園資源等が融合した「歴史・文化公園」の魅力を持ち「日本の公園の顔」でもある、奈良公園の多様な観光資源を磨き上げ、ニーズに応じた受入環境を充実させることで、国際競争力のある生産性の高い観光産業へ変革。

<代表的な指標>

奈良市の観光入込客数	1,314万人(H23)	→1,555万人(H28)	→2,068万人(H33推計)
奈良市の年間宿泊者数	136万人(H23)	→159万人(H28)	→221万人(H33推計)
奈良市の年間観光消費額	1,172億円(H23)	→1,194億円(H28)	→1,862億円(H33推計)

○『奈良公園観光地域活性化総合特区』を活用した取り組み

『世界に誇れる奈良公園』をめざし、国内外でのインバウンドプロモーションにより年間約1千万人の観光客を迎え入れ。



○奈良公園の魅力をゆったり周遊し満喫できるように、おもてなし環境を整備。

■（仮称）登大路バスターミナル

■ 歩道整備



（仮称）登大路バスターミナル整備イメージ



整備状況(H30.5)



奈良公園内歩道整備

国にお願いすること

○東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、全ての旅行者がストレスなく快適に観光を満喫できる「おもてなし環境」を整備するため、奈良公園の魅力向上させるプロジェクト推進に必要な、**社会資本整備総合交付金の重点配分。**

○**民間活力を最大限活用し**、奈良公園の名勝としての価値をさらに高めるとともに、奈良公園をゆったりと周遊できる空間を整備し、滞在型観光を促進。

■ 吉城園周辺地区



吉城園周辺地区整備イメージ



知事公舎（上）・副知事公舎（下）
を活用した宿泊施設

■ 高畑町裁判所跡地



高畑町裁判所跡地整備イメージ



庭園と調和した
宿泊施設（上）、飲食交流施設（下）